



碧南ロータリークラブ週報

第2853回例会 平成30年1月17日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

中部大学 キャリアカウンセラー&フリーアナウンサー 小島愛理様

●本日の卓上花

バラ (アバランチェ)

会 長 挨拶

こんにちは。

新年早々、会長代理挨拶が回って参りました。しかしながら、プロのアナウンサーの前でお話するとは、初春から縁起が良く、運が付いたと思って挨拶をさせていただきます。



平岩辰之副会長

では、改めまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

さて、皆様も初詣に行かれたと思います。子供の頃、何も分からず、父、母、祖父、祖母に連れられて行ったのが初めてと思います。私も初詣に行ってきました。「世界が平和になりますように」と願って参りました。いつ頃から皆さんが毎年習慣的に初詣に行くようになったのかと思い、調べてみました。初詣の始まりは、江戸中期からと思っておりましたが、明治中期頃の文化のようでございます。どうも江戸時代は、初詣の習慣がなく、元旦の恵方の方角の神社にお参りに行くのが伝統であったそうでございます。恵方は、毎年方角が変わりますので、毎年お参りに行く神社が変わります。恵方参りの他に正月から月末にかけて初縁

日に参拝するのが一般庶民の慣わしであったようでございます。現在では、コンビニのおかげで、恵方巻を食べることにより、恵方の方角があることを知られた方が多いと思います。

初詣の言葉が出てきましたのが、明治 18 年（1885 年）に伊藤博文翁が初代内閣総理大臣になった年だそうでございます。その頃の背景は、明治 18 年の 1 年前に私の祖母が生まれておりまして、富国強兵の時代で、祖母が 10 歳の頃、日清戦争の勝利の祝賀パレードでの提灯行列を憶えておりまして、大変綺麗であったと言っております。海外列強に負けないと明治魂を持って、富国強兵の精神を貫く勢いがあった時代に鉄道ができて、アクセスが良くなり、東京市内から川崎大師へ、成田山へ正月の参拝を一般大衆は考えるようになったようでございます。

初詣参りは、明治 5 年（1872 年）に日本初の鉄道が新橋・横浜間に開通して以来、鉄道網の発達と経済環境の発展に伴いまして、全国の神社に広がっていったようでございます。鉄道もしかり、コンビニもしかり、庶民の潜在的な信心深いところがビジネスの拡大に繋がったようでございます。

さて、話は変わりますが、先回のロータリーの例会では、点鐘で始まり、点鐘で終わるとお話しさせていただきましたが、閉会の点鐘をする時に少し間を空けましたら、前の席に座られていました竹中誠さん、森田先生から「点鐘、点鐘」と言われ、遅れた感じになりましたが、くれぐれも忘れておりませんので。誠さんも森田先生も反応が良いのは、カラオケで鍛えられている成果だと思います。私はイントロが少し遅れるので、失礼致しました。

さて、カラオケの話もできましたので、ロータリーソングの歴史を簡単に説明させていただきます。ロータリーソングは、ロータリークラブ創世記の 1907 年頃にシカゴ RC のハリー・ラグルスが、クラブ内が奉仕派と親睦派に分かれ、陰悪なムードを和らげるために歌ったのが始まりだそうでございます。

当クラブでは、皆さんご承知のように第 1 週が「奉仕の理想」、第 2 週が「我等の生業」、第 3 週が「今日も楽し」、第 4 週が「ロータリー讃歌」、第 5 週が「手に手つないで」であります。他クラブでは、「独自の歌」、「クラブの歌」もあるそうでございます。シカゴ RC も初めの頃は、流行歌を歌っていて、何でも良かったようでございます。例会におけるロータリーソングの歌唱は、ロータリアンとしての団結力を高めることに寄与しております。会を和ませることがロータリーソングの歌唱の意義であると思えば、四季折々の懐かしい童話・童謡・唱歌があり、声高らかに合唱することによって、その意気がさらに深まるものと考えております。その合唱を 1 つにまとめるソングリーダーは、大事な役目で、当クラブですと平松太さんに代わる人は見当たらないと思います。今後ともロータリーの要としてご尽力をお願いしたいと思います。

しかしながら、我々や先輩世代がビートルズ世代となり、後輩は永ちゃん、サザンの世代、アムラーの若い世代もあり、世代を問わず時代の名曲を合唱することによって碧南 RC の団結力を向上していくことも大事かと思っております。

拙い話で失礼致しましたが、最後に本日の卓話講師のプロのアナウンサーの小島先生の前で良く図々しく話ができたと感じております。

以上で会長代理挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 先週の1月10日の例会終了後に第7回の理事会を開催致しました。協議事項が全て原案通り承認となりました。
- ・ ロータリー囲碁同好会より「第19回ロータリー国際囲碁大会」開催のお知らせが届いております。
- ・ ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より「ロータリー希望の風奨学金」への支援のお礼状が届いております。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 11 名)出席者 55 名	
出席対象者 55/63 名	出席率 87.30%
欠席者 13 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 榊原 健君 先週、うっかりしていて昨年暮れの家族会の抽選会にて2等賞を受けたのを忘れていました。目立ってしまいますが、今週ニコボックスに入れたと思います。
- 平岩 辰之君 木村会長がお休みですので代わりに会長挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- 角谷 信二君 平成30年一発目の「火の用心」発声リズムがおかしいと、杉浦栄次君に注意されました。次回は気を付け頑張ります。
- 鈴木 並生君 碧南警察署より感謝状をいただきました。
- 竹中 誠君 息子が南国で結婚式をしました。6才の孫にせがまれて2回も泳ぎ、楽しかったです。テポドンが飛んで来なくて良かったです。
- 山中 寛紀君 新年例会早々に、いの一番バースデーフラワーを頂き、有難うございます。
- 黒田 泰弘君 先週の金曜日に、警察署より感謝状をいただきました。
- 杉浦 栄次君 1月14日に行われた、碧南市消防出初式で、表彰して頂きました。ありがとうございました。
- 平松 則行君 本年1月5日に母を見送りました。昨年8月頃から体調を崩し、年末まで2度危篤状況が続き享年99才、老衰で大往生でした。葬儀は親族のみで執り行い、メンバーの皆様には連絡もせずに申し訳ありませんでした。尚、年賀状を当方より出せなかった事、深くお詫び申し上げます。ありがとう

ございました。

荻谷 賢治君 本日卓話の講師、小島愛理様を御紹介させていただきます。

石川 鋼逸君 日曜に行われました、平成30年碧南市消防出初式には多くの皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

卓 話

「話すこと 壁の超え方」

中部大学 キャリアカウンセラー&フリーアナウンサー

小島愛理様



小島愛理様

皆さん、こんにちは。よろしくお願い致します。

今、プロフィールを伝えていただきましたけれども、普段は中部大学の大学生達と向かい合っております。私は皆さんに話し方などを教えております。また、キャリア支援課として就職の相談にも乗っておりますし、履歴書なんかの添削もしております。ですが、ロータリークラブという企業の社長様やお医者様、法律家の方もいらっしゃる前で話すのは20年ぶりだと思いますので、緊張しております。

私が社会人になってからの人生を大きく捉えますと、東海ラジオ放送の局アナでありました。それから、アメリカのニューヨークに留学して、そのまま仕事をしていた時間が13年ぐらいありました。そして、中部大学でお世話になっているというような形です。皆さんも同じかもしれませんが、やはり何か事を成し遂げようとする時には大きな壁というものが立ちはだかると思います。東海ラジオの話もしたいのですが、時間が足りないので、東海ラジオのアナウンサーになるまでの話をしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

私はこうやって皆さんの前でお話しをしておりますが、学生時代は自ら手を挙げて発言するような人物ではありませんでした。消極的な人間でもなかったのですが、それほど積極的な人間でもなく、どこにでもいるような学生でした。そんな私が大学は京都の同志社女子大学に入りましたが、そこで親元から離れるという経験をして、物凄く自由を手に入れました。本当に天にも昇るような気持ちだったのですけれども、そんなことを親の前では微塵も見せずに入学しました。私は小学生の時から梅雨時になりますと、手足に湿疹ができるというアレルギー体質を持っておりましたが、大学に入りますと、環境が変わったせいなのか分かりませんがピタッと止まりました。ですので、環境が変わるということは心が変わって、身体も変わるということをこの時に実感しました。

同志社女子大学の3年生の夏休みに実家に帰った時に母親からNHKのアナウンサーで知り合いがいるという話をされました。その方はアナウンサーをしながら、NHKの文化センターなどで、話し方や朗読を教えていらっしゃいました。私は就職の時に役に立つのではないかと思ひまして、夏休みが終わってから秋の講座に3ヶ月ほど通いました。そして、終わりがけに先生にアナウンサーになりたいと思っていると話をしました。そうしましたら、先生

は民放のアナウンサーの方を紹介してくださいました。そして、その先生の所で個人レッスンを2ヶ月ほどしていただきました。さらに、個人レッスンだけをしていてもアナウンサーに受からないということで、先生の紹介で大阪の生田教室というアナウンス教室に入りました。そこで細かい部分などを鍛えられまして、大学4年生の10月からアナウンス試験を受けに行きました。キー局、準キー局、地方局、FM局を20~25社受けたと思います。そこで最後は東海ラジオに入社することになりました。

東海ラジオに入る時もそうですが、アメリカの大学での生活、メディアの日テレでの生活、教育、そして、不動産の仕事の時も集中してどういう時々でも与えられた以上の事をやろうと思って一心不乱にやってきました。そうすると、神様が微笑んでくれた気が致します。その時に私は敢えて楽な道には進まなかったと思います。自ら前に出るような人物ではなかった人間がアナウンサーになった。そして、英語が得意ではなかった人間が外国に行って長年住んでみる。そして、自分の弱みを克服していったことで自信を付けられたのではないかなと思っております。養老孟司さんも「自信は自分で育てるもの」とおっしゃられていますが、私は日本に帰ってきて7年が経ちます。日本に帰ってくるのが非常に怖かったです。日本人が変わりつつあるということを感じておりました。日本に適応するのに2、3年掛かり、ここ3年プライベートで動くことができなかったということで、やっと今年から新しく動き始めた自分があるような気がします。この講演会もその1つでありまして、これから小島愛理はまたまた成長して参りますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

今日はご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成30年1月31日（水） 職場例会

会場：セレモニーホール碧雲